

# 南区駅前滞留者対応マニュアル【概要版】

(資料6-2)

## ○ 背景及び目的

<b>背景</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東日本大震災では公共交通機関の運行に支障が生じ、駅前に多くの帰宅困難（駅前滞留者）が集中して混乱等が発生</li> <li>● 朝夕の通勤・通学時間帯に南区内の駅に人が集中</li> <li>● 近畿大学病院開設に伴う鉄道利用者の増加の見込み</li> </ul>
<b>目的</b>	大規模災害発生時、南区内の主要駅における駅前滞留者に対し、関係機関が連携し、適切な避難誘導と支援を行う

## ○ 発災時の対応フロー

## ○ マニュアルの適用

次の情報を基に南区災害対策本部が適用の有無を判断

堺市において震度6弱以上の震度をされた場合かつ、南海電鉄からの鉄道の復旧見込情報等

## ○ マニュアルの対象

- ① 南区災害対策本部（南区役所）
- ② 堺市災害対策本部（堺市役所）
- ③ 南海電気鉄道株式会社（泉ヶ丘駅、梅・美木多駅、光明池駅）
- ④ 一時滞在施設※の所管部署及び指定管理者  
※ ビッグバン、梅文化会館、鴨谷体育館

## ○ 発災時の対応

- 駅前滞留者について、一時滞在施設へ誘導することを基本とする
- 一時滞在施設の収容能力を超える場合や、施設の利用が困難な状況においては、指定避難所等へ誘導

### 南区主要駅における一時滞在施設必要人数の推計

泉ヶ丘駅	梅・美木多駅	光明池駅	合計
940人※1	488人※2	755人※2	2,183人※1

※1 「堺市帰宅困難者対策ガイドライン」より抜粋

※2 合計から泉ヶ丘駅の一時的滞在施設必要人数を除いた数値を駅別乗降人数で案分

